

# さがみおおの らいぶらりーにゅーす

# 108

相模大野図書館報 2025年10月24日発行

## CONTENTS

P 2 - P 3

【特集 昭和100年】

P 4 【ブックらいと】

P 5 【どんな？こんな！R資料】

P 6 【こどものほんのフロアからこんにちは！】

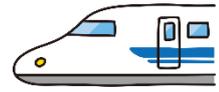
P 7 【AVコーナー】

P 8 【巻末】相模大野図書館ニュース





# 昭和 100 年



今年 2025 年は昭和の初めから数えて 100 年目にあたります。

1926 年 12 月 25 日、昭和天皇の即位により始まり、1989 年 1 月 7 日の崩御により終わりました。昭和元年から昭和 64 年まで続いた日本の年号で最も長い時代となっています。偶然にも最初の 1926 年と最後の 1989 年は 7 日間ずつです。

昭和レトロとして昭和時代のデザインやレコードなどの文化が再注目を集める昨今、第二次世界大戦・高度経済成長期・そしてバブル経済など、激動の 62 年と 2 週間から平成さらに令和へと続いたこの 100 年間を歴史・文化などから振り返ります。



## 昭和の由来



昭和は中国古典の「書経」より「百姓昭明、協和萬邦」に由来し「国民の平和と世界各国の共存繁栄を願う」という意味が込められています。

ちなみに江戸時代、今年の大河ドラマの主人公、蔦谷重三郎（1750 年～1797 年）が生きた時代の『明和』（1764 年～1772 年）の由来も同じ出典です。



### 『ロングセラー商品のパッケージデザイン』

新星出版社編集部／編

新星出版社 2010 674.3



子どもの頃から身近にあったあの商品のデザインの変遷が一目でわかる一冊。懐かしいデザインに思わず声が出てしまいます。デザインと時代背景にも言及しており商業デザインに興味のある方も必見です。

### 『普天を我が手に 第一部』

奥田英朗／著

講談社 2025 F



奥田英朗が昭和 100 年に放つ、壮大な昭和史サーガ三部作。7 日間の昭和元年に生まれた 4 人の主人公がそれぞれの世界で昭和を生きぬきます。第一部は親世代の視点で太平洋戦争までの物語が描かれます。

『スターハウス 戦後昭和の団地遺産』

海老澤模奈人／編著

鹿島出版会 2023 518.83



戦後、昭和の時代に建てられていた団地をスターハウス（星型住宅）といいます。老朽化などにより、急激に数を減らしているスターハウスの記録や現在について知ることができます。昭和の建築好きは必読の一冊です。

『あのころ、うちのテレビは白黒だった』

平野恵理子／著 海竜社 2020 382.1

昭和の時代の暮らしといえば白黒テレビなど、アナログなものをイメージしがちです。パソコンやスマートフォンなど、現在便利に使っているものの大半がなかった時代、使っていた道具や生活の知恵は今と大違い。昭和の暮らしを懐かしみながら、新たな学びを得ることができます。



『東京會館とわたし 上』

辻村深月／著 毎日新聞出版 2016 F



芥川賞や直木賞の選考会場として知られる東京會館。そんな建物を中心に、上巻では大正から昭和にかけての物語が収録されています。訪れる人だけでなく従業員にもスポットを当てた本作。人の数だけ物語がある、と感ぜさせてくれます。

『宿帳が語る昭和100年』

山崎まゆみ／著 潮出版社 2024 281.04

温泉宿の主人・女将たちをインタビューしたエピソード集です。昭和に活躍した西城秀樹、志村けん、高倉健、松田優作、ジョン・レノン夫妻など、有名人のリラックスした姿が目につかぶ話。心がほっこりするような出来事などが収録されている本です。また、柔らかく優しい似顔絵の表紙にも引かれます。



『味』 秋山徳蔵／著

中央公論新社 2015 B596.04



昭和天皇の日常の食事と宮中餐宴料理の料理番を半世紀務めた、初代主厨長秋山徳蔵さんの手記です。戦後食糧難の宮中での模様など、一般にはうかがい知れない話ばかりです。巻末の「完全な食卓作法」も興味深いです。

『昭和少年 SF 大図鑑』 堀江あき子／編

河出書房新社 2019 504



昭和 20～40 年代の子どもむけ雑誌のイラストをまとめた、団塊世代には懐かしい未来予想図の本です。

空飛ぶ車、ロボットなど当時の子どもたちに科学の進歩を夢いっぱい伝えていきます。未来への期待が感じられる大図鑑です。

きになる本をてらします

# ブックらいと



## あの頃へタイムスリップ！



1

『来たよ! なつかしい一冊』  
池澤夏樹／編  
毎日新聞出版  
2024 019.9

人それぞれなつかしいものはいろいろでしょう。年代によっても、もちろん違うものですね。

今回は、忙しい毎日を過ごしている皆さんへ、過去を振り返り、なつかしいと感じる本にらいとをてらしました。

毎日新聞の連載を書籍化した本書は、作家 50 人が自分にとって「なつかしい一冊」への思いを熱く語るブックガイドとなっています。他人の懐かしいものを垣間見ること、新しい出会いが生まれるかもしれません。昔を思い出すことは、誰にとっても意味のあることだと気づかされます。

皆さんの「なつかしい一冊」はなんですか？

2



『懐かしの空き缶大図鑑』  
石川浩司／著  
東海教育研究所 2019 588.4

昭和から平成にかけて収集した 3 万缶の中から、郷土の味や面白いネーミングのもの等が紹介され、珍しいお宝缶に出会えます。

3



『純喫茶とあまいもの』  
難波里奈／著  
誠文堂新光社 2023 291.3

パフェにホットケーキ、メロンソーダ。喫茶店の甘いものはいつの時代も人々の心を温めてくれます。一度は訪れたい名店の数々。懐かしいエピソードとともにご賞味あれ！！

4



『日本ガチャガチャクロニクル』  
杉村典行／著  
辰巳出版 2024 589.77

雑貨屋の店先で重いレバーを回した時代から現代まで、ガチャガチャの 60 年を振り返ります。あの時機の引き出しに入っていた宝物に再会できるかもしれません。



相模大野図書館の本は、『日本十進分類法』に従って並んでいます。『日本十進分類法』とは、本を内容別に整理する為の方法です。まず 0~9 の大まかな区分に分け、その 10 区分をさらに細かく分けることによって、わかりやすく配置することができます。

またその中で、参考資料(R)、郷土資料(K)、文庫(BF)や新書(S)、旅行ガイド(T)、児童書(J)などは分類記号の前に別置記号を付し、探しやすくしています。他にも、小説(F)、雑誌(Z)、絵本(E)、洋画DVD(DW)、などの表記もあります。

どんな？  
こんな！

レファレンス

# R 資料

なかなか手に取りにくい“調べもの”のための  
資料＝通称“R(レファレンス)資料”  
ここではレファレンスのスペシャリストが  
とっておきの資料を皆様にご紹介します



## 知らない昭和がいっぱい！！

『昭和史全記録 1926-1989』

毎日新聞社

1989 R210.7

昭和は、1926年12月25日、クリスマスの改元から始まりました。「大正」から改元された元号は「**光文**」と枢密院が決めましたが、東京日日新聞が正式発表前にスクープしようとしたため、不謹

慎のそしりを免れないと「昭和」に切り換えられたそうです。波乱万丈な昭和の幕開けに相応しい出来事だと感じる方も多いのではないのでしょうか。

この本は、月ごとのクロニクル（出来事を時系列順に記録）形式により、その時代の生活実感までも想像させるよう構成されています。また「昭和初期の広告」「映画ポスター」「オリンピック」などのカラーページもあり、鮮やかな記憶がよみがえります。貸出用もあるのでじっくり昭和に浸ってみては！？

シリーズ  
郷土資料

## 発見！私たちの郷土

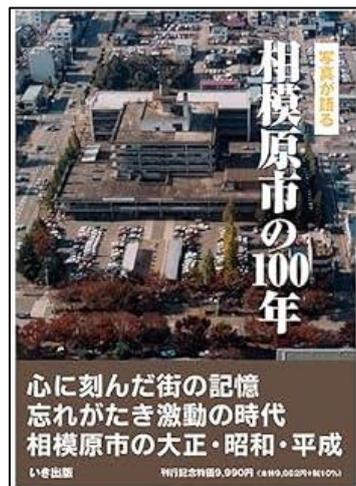
この100年で相模原市の景色は大きく変わりました。

変化の始まりは戦後の軍施設建設でした。道路などの都市施設整備の必要性から、相模原市は、首都圏整備法による市街地開発区域第一号の指定を受け、それを機に、住宅建設、工場・事業所進出が増加し、人口が急増しました。

市は、あらゆる部門の対応に追われ、ひっ迫する厳しい財政事情の中で、地域の特色を生かした街づくりに力を注ぎました。

この本を制作するにあたり、忘れがたい激動の時代の、生活感あふれる街の風景を後世に伝えていきたいと、昭和初期から平成初期までの写真の提供を市民に呼び掛けたところ、200人以上の方々からたくさんの貴重な写真が寄せられました。その中から厳選された600枚の写真によって、この本は完成しました。

開発によって失われた風景にも思いを馳せながら、相模原市の発展と、活気あふれる市民の生活がうかがえる貴重な一冊です。



『写真が語る 相模原市の100年』

いき出版

2024 K1-29

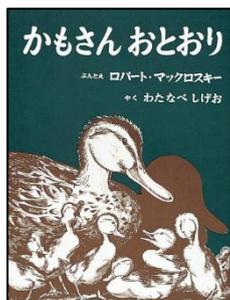
後世に相模原の歴史を伝える

# こどものほんのフロアから こんにちは!

相模大野図書館は、“一般書（大人向け図書）フロア”と“こどもの本のフロア”に分かれています。  
 “こどもの本のフロア”ってどんな所？という方もいらっしゃるかもしれません。そこで、こちらのページでは、  
 “こどもの本のフロア”に関する事や児童対象のイベントの紹介・報告をしています。

昭和元年  
 ~20年頃

## 昭和初期に生まれた児童文学



巣作りにぴったりな場所を探して飛びまわる、かものマラードさん夫婦。静かな中洲に巣を作り、夫婦にはやがて8羽のひなが生まれました。

家族の成長と街の人とのふれあいを描いた心あたたまる一冊です。

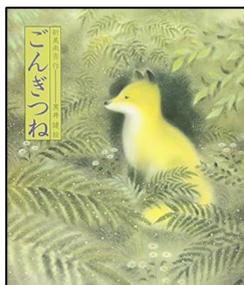
初出 昭和16年

『かもさんおとおり』

ロバート・マックロスキー／文・絵

わたなべしげお／訳

福音館書店 1965 E/マ



昭和初期に多くの作品を遺した新美南吉。その代表作『ごんぎつね』は、現在も小学校の教科書に掲載されています。

この絵本も、昭和61年に発売されて以来、長い間多くの人に読み継がれています。柔らかな優しい絵が、物語の魅力を引き立てています。

初出 昭和7年

『ごんぎつね』

新美南吉／著

黒井 健／画

偕成社 1986 E/<



言わずと知れた名探偵・明智小五郎と、怪人二十面相の対決を描いたミステリーです。スリリングな展開にページをめくる手が止まりません。

当時の子どもから爆発的な人気を得た、「少年探偵」シリーズの第1巻です。

初出 昭和11年

『怪人二十面相 少年探偵・江戸川乱歩1』

江戸川乱歩／著 ポプラ社 1998 J913



田舎の農場で過ごすことになったペネロピーは、16世紀の荘園に迷い込みます。そこでは王位継承権をめぐり、メアリー女王を助ける計画が密かに進められていました。

20世紀と16世紀を行き来し、同じ場所（農場）で時代を超えて人々と交

流していく少女の物語です。

初出 昭和14年

『時の旅人』

アリソン・アトリー／作

松野正子／訳

岩波書店 2000 J933

国内外の

## しかけ絵本あります!

1940年初版の赤ちゃん向けさわる絵本。触ったり香ったりして五感で楽しめます。

ご覧になりたいときは、児童カウンタースタッフにお声かけください。

『おたすけてんぐ』（禁帯）

長谷川義史／著

教育画劇 2004 E/カウンター

『Pat the bunny deluxe edition』（禁帯）

Dorothy Kunhardt／著

Golden Books 2001 GE3/KUN/カウンター





このコーナーではCD・ビデオ・DVDの視聴覚資料（オーディオヴィジュアル）を中心に紹介していきます。

## 昭和 100 年

昭和の懐かしの名作映画やドラマ、懐かしの遊びや伝統文化についてのDVDを集めました。

### 『東京物語』

小津安二郎／監督

MMC 1953 DN20028

尾道から東京に暮らす子供たちの家に上京した老夫妻。忙しい子供家族は老いた親を構う暇もなく……。戦後復興の喧騒に包まれる東京と、老夫妻の哀愁の対比が、淡々と静かに、美しい映像で切り取られています。海外でも絶賛された名作です。

### 『カラーでよみがえる東京／不死鳥都市の100年』

NHK 2014 DO20163/赤

100年の間に、震災と戦争によって2度も焼け野原になった東京が、どのようにして不死鳥のごとくよみがえってきたのか。その記録をカラー化したことにより、東京の歴史をよりリアルに感じることができます。

### 『大河ドラマが生まれた日』

NHKエンタープライズ 2023 DN20159

2023年に日本でテレビ放送70周年、大河ドラマ60周年を迎えることを記念し制作されたテレビドラマです。「あらゆる娯楽を詰め込んだ日本一の大型時代劇を作れ」という上司の命令により、若手ADとスタッフが“大河ドラマ誕生”に向け奮闘します。主演は生田斗真です。

### 『昭和の遊び方』

エスパー伊東／出演

キュリオスコープ 2012 DO20123/桃

昭和の遊びを再現してみよう！という企画ですが、大人でもルールがおぼろげだったり、ローカルルールがあったりで混乱気味に。ビー玉、ハンカチ落とし、缶けり、だるまさんがころんだ、など懐かしい遊びが満載です。

### 『日本の伝統文化で生活を豊かに／風呂敷活用術-包み隠さず教えます-』

K-essence 2018 DO20192/白

日本人が生み出した風呂敷の文化。小物作家のMARUが、今の時代に合った活用法をわかりやすく教えてください。スイカのように丸い物からワインボトルのように細長い物まで、持ち運びしやすい包み方がとても粋で、必見です！

### 『あやとり／Ayatori』

ポニーキャニオン 2009 DO20118/桃

日本の伝統的なあやとり作品を中心に“富士山”、“東京タワー”など入門編から上級編まで19作品を解説したハウツーDVDです。遊び手目線のアングルで撮影されており、難解な部分も明解に見ることができます。和楽器を用いたBGM、和テイストな映像表現も心地よいです。案内役は真野響子です。



#### もし、DVDやビデオを破損、紛失してしまったら？

図書館にあるDVDとビデオは著作権許諾済みのものを購入しています。市販のものは、図書館での利用ができません。弁償の場合は、図書館で注文しますのでお借りになった図書館へお申し出ください。価格については、図書館で利用するための著作権料が含まれており、市販価格よりも高額となっています。DVDやビデオ等の視聴覚資料は壊れたり傷つきやすいので、お取り扱いにもご注意ください。

# 相模大野図書館ニュース

読書週間イベントのご案内

このコーナーでは、  
相模大野図書館の  
最新ニュースを  
お届けします！

特集展示

「郷土のアーティスト」

実施期間:10/10~11/12  
実施場所:3階 特集展示コーナー

プレゼント企画

読書記録手帖の配布

実施期間:10/28~11/12  
実施場所:3階 総合カウンター

特集展示

「心おどる

ファンタジーの世界へ」

実施期間:10/10~11/12  
実施場所:3階 特集展示コーナー

子ども向けイベント

「サイコロ・本(ポン)！」

実施期間:10/10~11/12  
実施場所:4階 子どもの本のフロア



発行 相模原市立相模大野図書館  
〒252-0303

相模原市南区相模大野4-4-1

TEL 042-749-2244

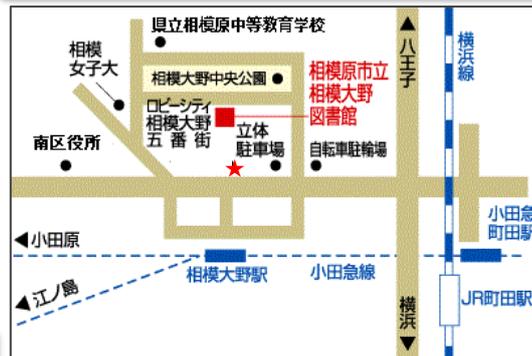
<https://www.lib.sagamihara.kanagawa.jp>

開館時間

平日 9:30~20:00 (4階子どもの本のフロアは18:00まで)

土・日・休日 9:30~18:00

←図書館のHP、フェイスブック、XはこちらのQRコードからアクセス！



小田急線相模大野駅北口徒歩8分

★現在伊勢丹跡地工事のため、立体駐車場横の道を迂回してください。

MAP

## FM HOT 839「図書館へ行こう」放送中!!

図書館職員によるおすすめの本と  
図書館イベントの紹介

毎月第1週火曜日	11:35頃	橋本図書館
毎月第2週火曜日	11:35頃	相模大野図書館
毎月第3週火曜日	11:35頃	相模原市立図書館
毎月第4週火曜日	11:35頃	図書館豆知識
再放送は、翌水曜日	18:05頃	
	翌木曜日	16:15頃
	翌金曜日	9:05頃より放送します

「図書館へ行こう」の放送は

FM HOT 839 無料公式アプリでも  
お聴きいただけます!!

ラジオは停電でも  
防災情報が聴ける防災メディア  
チャンネルはいつでも 83.9MHz

アプリの  
ダウンロードは  
こちらから

<https://fmplapla.com/fmsagami>

**83.9MHz**

<https://fm839.com/>

**FMHOT839MHz**

相模原市立図書館の公式 YouTube チャンネルでは  
アーカイブも公開しています

